

2 「大学と保護者との連絡会」への援助

地区会場費等へ 4,790,515円 の援助



全体総括

1. 開催期間 2020年9月12日～10月3日

2. 開催地 全国20会場

3. 参加者

保護者合計 学部1,332世帯(1,529名)

全国各地区会場(17会場) 257世帯(380名)

東京・横浜会場(3会場) 1,075世帯(1,149名)

教職員 36名(全国各地区への派遣者数)

4. 今年度の結果と特徴

①今年度は新型コロナウイルス感染防止の対策として1世帯1名での参加にご協力いただき、学部全体の出席世帯数が1,332世帯と前年比16.3%減となりました。在籍者数に対する出席率は19.3%と昨年より3.1%減であった。学年別では、1年生の保護者が最も多く405世帯で前年比4.7%減、2年生が243世帯で23.7%減、3年生が289世帯で20.9%減、4年生が138世帯で10.1%増であった。

②大学会場は、世田谷キャンパスでは前年比21.3%減で714世帯の方が出席され、横浜キャンパスでは、前年比10.4%減の206世帯、等々力キャンパスでは、前年比11.5%増の155世帯の出席者となった。

③地区会場については、昨年度と同じ17会場を設定・実施し、今年の出席世帯数は前年度より16.5%減の257世帯となった。

④大学会場について、世田谷キャンパスでは学部別説明会及び学科別説明会を中止し、学年別説明・懇談会のみ実施した。懇談では、成績についての相談や、TAPの延期、TUCPの中止、対面と遠隔で行うハイブリッド型授業、就職活動、インターシップ、大学院進学等について、様々な話題が寄せられ、個別面談も多数あった。

⑤地区会場では、コロナ禍における大学の対応や就職について、より詳細な説明をする等、前年度と比べ違った内容の連絡会となった。また、東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願い、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただき、会場によっては県の労働雇用課の方にご出席いただいた。

大学会場学科別世帯数	2020	2019
機械工学科	88	105
機械システム工学科	91	109
原子力安全工学科	37	36
医用工学科	33	56
電気電子通信(電気電子)工学科	70	80
エネルギー化学科	36	54
自然科学科	46	54
建築学科	68	96
都市工学科	69	93
情報科学科	71	85
情報通信工学科	32	52
知能情報(経営システム)工学科	73	88
環境創生学科	40	53
環境経営システム(環境マネジメント)学科	58	53
社会メディア学科	48	53
情報システム学科	60	71
都市生活学科	104	93
児童学科	51	46
合計	1,075	1,277

詳細については、後援会誌TCU-COM63号(2021年2月刊行)をご覧ください。

3 大学行事への協力援助

大学行事名	援助対象	金額(円)
1 体育祭(5月9日～10日) ※中止	体育会	0
2 横浜祭(6月6日～7日) ※中止	横浜祭実行委員会	0
3 等々力祭(11月7日～8日) ※中止	等々力祭実行委員会	0
4 世田谷祭(11月7日～8日) ※中止	世田谷祭実行委員会	0
合計		0

4 学生厚生援助

援助内容	金額(円)
1 朝活応援企画100円朝食 ※1	231,470
2 学生モバイルアプリ保守費(年間)	1,000,000
3 洗濯機・2台(世田谷キャンパス14号館) ※2	130,306
4 製氷機(世田谷キャンパス18号館) ※3	498,432
合計	1,860,208

※1 410円相当の朝食に対して、後援会より約100円×喫食数を補助し(大学が約210円を補助)、3キャンパス合計2,240食を提供し、総額の1/3を援助した。



※2 洗濯機



※3 製氷機

5 会誌の発行

会誌号	金額(円)
1 TCU-COM62号刊行(8月中旬全会員へ送付) ※4ページ減	904,200
2 TCU-COM63号刊行(2月上旬全会員へ送付)	2,237,400
3 後援会誌バックナンバーデータ化	415,800
合計	3,557,400



TCU-COM no.62, no.63

6 フレッシュヤーズ・キャンプ(新入生研修行事)への補助

昨年度実施予定であったフレッシュヤーズ・キャンプは、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり代替行事が検討され、学科判断によりフレッシュヤーズ・ミーティングが実施された。その結果、大学予算で実施することとなり、後援会からの補助は行わなかった。